

令和7年
2025年

1月14日
火曜日

第11631号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



日食協が新年賀詞交歓会を開催した……P5

CONTENTS

- ▶ [全国の食肉推定在庫・11月] 全在庫は前年同月比8・5%増 …… P2
- ▶ 牛マルキン11月、肉専用種は14都道府県で交付、豚マルキンは交付なし …… P3
- ▶ 輸出関係閣僚会議、「食品産業の海外展開」、「インバウンドによる食関連消費の拡大」を新たな政策の柱に …… P4
- ▶ ニチレイフーズが新商品発表会開催、「極上メンチかつ」などを新発売 …… P4
- ▶ 日食協が食肉流通関係者ら招き、新年賀詞交歓会を開催 …… P5
- ▶ [食肉家計調査・11月] 支出肉類計は8254円で前年超え …… P6
- ▶ [牛肉需給動向・11月] 推定出回り量は前年比3・0%減 …… P7
- ▶ 「伝説のすた井屋」で2種類の「すたみな必勝丼」を発売 …… P7
- ▶ [豚肉需給動向・11月] 推定出回り量は前年同月比1・1%減 …… P8
- ▶ バーガーキングが「グリーンゴッデス マッシュルームワッパー」発売 …… P8
- ▶ 【東京食肉卸売市場】補充落ち着き牛、豚ともに弱含みか …… P9
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】和牛下旬向け下落、豚500円程度の推移 …… P9
- ▶ まい泉、「だし香る黒豚の肉じゃがコロッケ」期間限定発売 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 10日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 10日 …… P11

注目のヘッドライン

【全国の食肉推定在庫・11月】全在庫は前年同月比8・5%増

農畜産業振興機構が公表した2024年11月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は60万1491t(前年同月比8・5%増)と前年同月を上回った。

…詳細はP2

牛マルキン11月、肉専用種は14都道府県で交付、豚マルキンは交付なし

…詳細はP3



Nipponham Group
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

【全国の食肉推定在庫・11月】 全在庫は前年同月比8・5%増

農畜産業振興機構が公表した2024年11月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は60万1491t(前年同月比8・5%増)と前年同月を上回ったが、前月比では3・5%の減少となった。

畜種別では牛肉の輸入在庫が13万6791t(8・6%増)となり、前月からは5・7%減。国産在庫は1万867t(15・1%減)となり、前月比では3・2%減となった。牛肉全体の推定在庫は14万7658t(6・4%増)となり、前月比では5・5%減となった。

豚肉は輸入在庫が19万4797t(5・7%増)と前年

同月から増加。前月比では3・5%減となった。一方、国産在庫は2万1389t(6・1%増)となり、前月並み。豚肉全体の推定在庫は21万6186t(5・8%増)となり、前月比では3・2%減となった。

また、鶏肉の輸入在庫は13万9323t(16・1%増)と大幅に増加し、前月比では1・3%減。国産在庫は3万780t(0・3%減)となり、前月からも4・4%減となった。鶏肉全体の推定在庫は17万103t(12・8%増)となり、前月からは1・9%減となっている。

[2024年11月の食肉の推定在庫]

単位:トン、比率%

区分		7月	8月	9月	10月	11月	対前月比	対前年比	
牛 肉	全在庫	176,302	179,485	180,245	175,733	167,008	95.0	106.1	
	冷凍品	155,742	161,482	161,887	159,146	150,025	94.3	108.0	
	冷蔵品	20,560	18,003	18,358	16,587	16,983	102.4	91.8	
	未通関計	24,304	21,231	24,397	19,425	19,350	99.6	104.2	
	推定期末在庫	151,998	158,254	155,848	156,308	147,658	94.5	106.4	
	冷凍品	132,263	140,436	138,274	139,870	130,952	93.6	108.2	
	冷蔵品	19,735	17,818	17,574	16,438	16,706	101.6	93.9	
	内 訳	輸入在庫計	140,727	147,288	144,550	145,078	136,791	94.3	108.6
		冷凍品	122,107	130,560	128,182	129,844	121,318	93.4	111.0
		冷蔵品	18,620	16,728	16,368	15,234	15,473	101.6	92.9
		国産在庫計	11,271	10,966	11,298	11,230	10,867	96.8	84.9
		冷凍品	10,156	9,876	10,092	10,026	9,634	96.1	82.6
		冷蔵品	1,115	1,090	1,206	1,204	1,233	102.4	108.3
	豚 肉	全在庫	233,671	235,901	238,323	240,303	230,632	96.0	106.4
冷凍品		218,940	222,393	223,324	224,376	216,852	96.6	107.4	
冷蔵品		14,731	13,508	14,999	15,927	13,780	86.5	92.7	
未通関計		14,915	13,503	15,546	16,997	14,446	85.0	116.1	
推定期末在庫		218,756	222,398	222,777	223,306	216,186	96.8	105.8	
冷凍品		204,749	209,150	208,521	207,714	202,660	97.6	106.4	
冷蔵品		14,007	13,248	14,256	15,592	13,526	86.7	96.6	
内 訳		輸入在庫計	195,529	200,290	201,197	201,922	194,797	96.5	105.7
		冷凍品	182,019	187,331	187,468	186,835	181,727	97.3	106.2
		冷蔵品	13,510	12,959	13,729	15,087	13,070	86.6	100.1
		国産在庫計	23,227	22,108	21,580	21,384	21,389	100.0	106.1
		冷凍品	22,730	21,819	21,053	20,879	20,933	100.3	109.0
		冷蔵品	497	289	527	505	456	90.3	48.3
鶏 肉		全在庫	174,544	178,831	176,434	180,983	178,308	98.5	113.8
	未通関計	5,482	5,796	6,762	7,669	8,205	107.0	140.1	
	推定期末在庫	169,062	173,035	169,672	173,314	170,103	98.1	112.8	
	内訳	133,594	137,941	136,518	141,112	139,323	98.7	116.1	
	国産在庫計	35,468	35,094	33,154	32,202	30,780	95.6	99.7	
羊 肉	全在庫	5,516	5,100	4,823	4,615	4,098	88.8	112.6	
	未通関計	419	373	402	320	311	97.2	203.3	
	推定期末在庫	5,097	4,727	4,421	4,295	3,787	88.2	108.6	
	内訳	4,942	4,573	4,288	4,165	3,669	88.1	107.0	
	国産在庫計	155	154	133	130	118	90.8	207.0	
そ の 他	全在庫	20,623	20,456	20,614	21,408	21,445	100.2	107.7	
	未通関計	492	420	554	1064	484	45.5	69.9	
	推定期末在庫	20,131	20,036	20,060	20,344	20,961	103.0	109.0	

牛マルキン 11月、肉専用種は14都道府県で交付、豚マルキンは交付なし

農畜産業振興機構は10日、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の令和6年度11月分の標準的販売価格および標準的生産費、交付金単価(概算払い)を公表した。

肉専用種については、標準的生産費が標準的販売価格を上回った14都道府県で交付される。肉用牛1頭当たりの最高交付金単価は、北海道の3万4905・8円。次いで京都府が2万6063・3円、群馬県が1万9985・6円、埼玉県が1万5757・4円、熊本県1万4954・6円の順に高い。なお、石川県、兵庫県は都道府県標準販売価格が規定の算出額を上回ったため、単独で標準的販売価格の算定を行っている。

交雑種については、標準的生産費が74万549円と

なり、標準的販売価格の76万1904円を下回ったため交付はない。乳用種は生産費が51万1124円となり、販売価格の46万6790円を上回り、交付金単価は3万2900・6円となった。

肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の6年度第1～3四半期については、算出した見込みの標準的販売価格が4万6811円となり標準的生産費4万2719円を下回らなかったことから、概算払いはない。

肉用牛1頭あたりの交付金単価の算出結果(全国)

区分	単位:円/頭	
	交雑種	乳用種
標準的販売価格(A)	761,904	466,790
標準的生産費(B)	740,549	511,124
差額(C)=(A)-(B)	21,355	△ 44,334
交付金単価(概算払い)	-	32,900.6

※交付金単価は差額に100分の90を乗じた額から7千円を控除した額

肉用牛1頭あたりの交付金単価の算出結果(肉専地域別)

区分	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
標準的販売価格(A)	1,209,990	1,230,038	同左					1,229,905
標準的生産費(B)	1,256,552	1,211,214	1,192,422	1,237,707	1,203,807	1,193,989	1,234,403	1,246,616
差額(C)=(A)-(B)	△ 46,562	18,824	37,616	△ 7,669	26,231	36,049	△ 4,365	△ 16,711
交付金単価(概算払い)	34,905.8	-	-	-	-	-	-	8,039.9

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県	新潟県
1,229,905	同左								1,300,129
1,251,433	1,259,889	1,255,191	1,234,881	1,247,640	1,246,669	1,193,204	1,226,607	1,216,315	1,198,350
△ 21,528	△ 29,984	△ 25,286	△ 4,976	△ 17,735	△ 16,764	36,701	3,298	13,590	101,779
12,375.2	19,985.6	15,757.4	-	8,961.5	8,087.6	-	-	-	-

富山県	石川県	福井県	岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
1,300,129	1,541,745	1,300,129	1,364,358	同左		1,199,680	同左		1,667,465
1,214,788	1,208,094	1,206,696	1,255,452	1,213,845	1,186,540	1,203,027	1,236,417	1,204,683	1,303,672
85,341	333,651	93,433	108,906	150,513	177,818	△ 3,347	△ 36,737	△ 5,003	363,793
-	-	-	-	-	-	-	26,063.3	-	-

奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
1,199,680	同左	1,253,807	同左				1,265,227	同左	
1,218,350	1,200,008	1,226,106	1,204,052	1,210,110	1,202,230	1,202,562	1,226,757	1,211,345	1,199,863
△ 18,670	△ 328	27,701	49,755	43,697	51,577	51,245	38,470	53,882	65,364
9,803.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
1,265,227	1,208,307	同左						1,199,937
1,147,747	1,221,461	1,218,989	1,217,366	1,232,701	1,220,180	1,206,785	1,214,001	1,178,580
117,480	△ 13,154	△ 10,682	△ 9,059	△ 24,394	△ 11,873	1,522	△ 5,694	21,357
-	4,838.6	2,613.8	1,153.1	14,954.6	3,685.7	-	-	-

輸出関係閣僚会議、「食品産業の海外展開」、 「インバウンドによる食関連消費の拡大」を新たな政策の柱に

第21回農林水産物・食品の輸出拡大のための輸出入規制への対応などに関する関係閣僚会議が官邸で開催された。会議では、昨年8月の輸出関係閣僚会議に官房長官から指示を受けた、海外需要の拡大と供給力向上を車の両輪として施策を展開し、輸出拡大を加速するという方針とともに、新たに「食品産業の海外展開」「インバウンドによる食関連消費の拡大」を連携して進め、各施策の相乗効果を通じて、「海外から稼ぐ力」を強化する方針を示した。

輸出拡大との相乗効果を発揮するため、“モノの輸出”とともに「食品産業の海外展開」「インバウンドによる食関連消費の拡大」を新たな政策の柱として位置付け、関係省庁とも連携し、施策の充実を図るとともに、施策の効果を検証するための指標を検討して

いく必要がある。これらの効果について「食品産業の海外展開」は、海外子会社の利益による企業グループ全体の価値向上や日本本社に送金される利子・配当などによる日本本社の利益拡大などを通じて、食品産業の発展や国際収支黒字の拡大に寄与し、さらに、日本産原材料を用いた現地加工、日本食の普及、食文化の理解促進等を通じ、輸出促進にも貢献するとしている。

また、「インバウンド(訪日外国人旅行者)による食関連消費」は、日本の食に対する海外からの需要という点で輸出と同様、農林水産業・食品産業に利益を生むとし、インバウンドの増加は、日本食・食文化の魅力を海外に発信していく好機であり、輸出拡大も期待される。

ニチレイフーズが新商品発表会開催、「極上メンチかつ」などを新発売

ニチレイフーズは10日、「ニチレイフーズ2025年春季新商品発表会」を開催した。24年度の家庭用冷凍食品市場は約7650億円(インテージ調べ、店頭売り)と過去最高規模で着地の見込みで、伸長の背景の一つとして社会環境の変化に伴い、あらゆる世代で「食の外部化」が年々進行していることが挙げられる。同社では25年春季の新商品コンセプトとしてバリューバランスやおいしさの原点を追求した「力強いカテゴリー政策の推進」、健康やパーソナルユースなど「新規需要創造への挑戦」といった生活者トレンドに即した戦略の推進を図った。

米飯カテゴリーでは、既存のナンバー1商品「本格炒め炒飯」について、手作りでは手間のかかる焼き豚に着目。サイズを約10%アップし、高温短縮加熱でジューシー感としっかり焼き上げた香ばしさを高めた「新・本格ゴロゴロ焼豚」を採用し、リニューアル。

おかずカテゴリーでは「極上メンチかつ」(写真)を新発売。豚ロース肉とアングス牛の素材にこだわり、黒こしょう、ナツメグ、セロリパウダーなど肉のおいしさを引き立てるスパイスで洋食店の味付けを再現している。「極上ヒレかつ」は食べ応えのある厚みにブ



ラッシュアップし、リニューアルを行った。

業務用商品では、総菜マーケットの拡大や国内の「コト消費」、インバウンド需要の増加に伴い、総菜・外食市場が拡大する中、各業態で課題となっている人手不足の深刻化に対応し、業態特性に応じた加工度の異なる商品を提供し、貢献を進める。新商品では従来比1・4倍量の圧倒的な具材感をパリッと軽い皮の食感が引き立てる「特撰中華 具沢山春巻」を発売するほか、学校給食向けでは乳・卵・小麦のアレルゲン不使用の「みんなにやさしい鶏からあげ」を新たに投入する。

タンパク質を補い糖質をオフするなど、健康コンセプトの新ブランド「everyONe meal(エブリオンミール)」の全国発売を3月から行うことも発表した。

日食協が食肉流通関係者ら招き、新年賀詞交歓会を開催

公益社団法人日本食肉協議会(本川一善会長=上写真)は10日、東京・千代田区の帝国ホテルで、新年賀詞交歓会を業界関係者を招き開催。

本川会長は冒頭のあいさつで、昨年初めの能登半島地震、また、猛暑や豪雨といった気象災害に触れるとともに「昨年は総じて重苦しい雰囲気を感じる1年であった。海外に目を向けるとウクライナやガザでの紛争も収束の兆しをみせず、米国ではトランプ大統領が再選するなど、不確実性の増した1年という印象だった。ただ、政府によると国内の経済は一部、足踏み感があるが、緩やかに回復しており、これからもその状況が期待されるところだ」と述べ、「食肉業界においては、和牛の輸出が堅調、また、インバウンド旅行者が過去最高の4千万人だとの明るい話題もみられるが、やはり消費者目線という財布のひもの固さは緩むことはなく、和牛の売れ行きが伸び悩んだ厳しい1年であった」とし「昨年、農水省では50億円の3倍を超える170億円の補正予算を確保していただいた。また、四半世紀ぶりに改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ今年、畜産政策の基本となる酪肉近代化基本方針や家畜改良増殖目標などが改定される節目の年となる。これら予算や政策を有効活用し、販路の拡大や物流の課題に向き合い、厳しい状況を打開し明るい1年にするべく頑張っていきたい」と述べた。

来賓からは農水省畜産局の松本平畜産局長(中写真)があいさつし、畜産分野においても物価高騰や円安の影響などから、配合飼料価格の上昇や消費者の生活防衛意識の高まりで、牛肉需要が伸び悩んでいる背景に触れながらも「昨年の10月頃から、このような現状に少し動きが出てきたとも感じている。特に子牛の価格については前年を上回る形での競りの状況もみえてきている。また枝肉価格についても10月の中下旬頃から昨年を上回る形で推移してきた」とし、今年も引き続き国内外の事業の促進、消費拡大、輸出促進などで、畜産経営の下支えを継続していくことなどを説明したほか「和牛肉消費拡大においては出口対策を中心にエンジンを回していくことに重心を置いた政策を進めていく。出口対策が機能すれば供給し子牛を出していく、それに伴い繁殖・肥育農家にも



動きが出てくるものだと思う。これに対し卸・流通関係者の皆さまも軌を一にして、流れを前に進めていけるような対策を推進していきたい」と関係者への協力を強調した。

このあと農畜産業振興機構の天羽隆理事長(下写真)が「食肉業界を巡っては、フードシステムの各段階でコスト上昇を転嫁していくことや金利の問題、人畜ともに感染症が発生していること、そして昨年で終わったわけではない2024年物流問題など、引き続き山積する課題で厳しい状況が続いているが、昨年末、措置していただいた補正予算を適切に使い、中食・外食事業者、そして、消費者の皆さまへの魅力の発信と需要促進につながる施策を行っていただくことを願っている」と乾杯の発声を行い、祝宴に入った。

【食肉家計調査・11月】支出肉類計は8254円で前年超え

総務省統計局が公表した11月家計調査報告(2人以上世帯=1世帯あたり・品目別)によると、肉類支出金額は8254円(前年同月比0.5%増)で前年超えとなった。

生鮮肉への支出金額は6650円(0.2%減)と減少した。内訳をみると、牛肉への支出金額は1560円(9.0%減)と減り、購入量は457g(2.7%増)と増加。豚肉は支出金額が2927円(2.3%増)、購入

量は1856g(0.4%増)と増え、鶏肉も支出金額が1629円(3.8%増)、購入量は1586g(5.2%増)と前年を上回っている。そのほか、合いびき肉は支出金額が251円(4.1%増)、購入量は168g(2.9%減)、他の生鮮肉は支出金額が282円(2.9%増)、購入量は142g(6.8%増)。また、加工肉計の支出金額は1603円(3.2%増)となった。

家計調査による肉類支出金額および購入量(全国・二人以上の世帯1世帯あたり・品目別)

単位:円、グラム、%

	肉類計		生鮮肉計		牛肉				豚肉			
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年上半期計	47,782	103.5	38,891	103.7	10,111	98.2	2,881	94.6	16,637	105.1	11,029	98.8
11月	8,213	101.9	6,660	102.4	1,715	99.1	445	97.6	2,860	103.6	1,848	101.4
12月	10,646	101.0	8,683	101.1	3,025	98.1	654	100.3	3,060	100.4	2,021	101.3
5年計	98,457	101.9	79,811	102.0	21,449	95.9	5,853	94.4	33,553	103.3	22,041	98.9
6年1月	8,098	99.1	6,735	99.4	1,752	98.3	452	92.1	2,866	98.0	1,823	97.4
2月	7,844	103.7	6,455	103.8	1,522	97.9	413	93.4	2,808	103.5	1,883	104.9
3月	8,320	106.4	6,807	107.3	1,704	106.8	467	100.2	2,893	104.7	1,921	103.4
4月	7,883	96.4	6,358	95.6	1,602	91.1	450	92.8	2,695	95.7	1,791	95.3
5月	8,297	100.0	6,688	100.3	1,795	97.9	477	92.1	2,742	100.1	1,835	99.1
6月	7,928	102.2	6,366	102.1	1,610	101.4	429	89.6	2,727	101.7	1,804	101.7
6年上半期計	48,370	101.2	39,409	101.3	9,985	98.8	2,688	93.3	16,731	100.6	11,057	100.3
7月	7,728	97.8	6,183	98.8	1,554	94.6	411	86.5	2,724	101.0	1,702	96.4
8月	8,241	102.0	6,601	102.5	1,855	103.1	484	93.8	2,749	102.5	1,707	98.3
9月	7,772	100.5	6,309	100.5	1,644	107.0	481	103.4	2,688	97.6	1,740	97.7
10月	8,119	100.2	6,611	100.2	1,631	100.6	422	97.9	2,850	99.6	1,774	95.9
11月	8,254	100.5	6,650	99.8	1,560	91.0	457	102.7	2,927	102.3	1,856	100.4

	鶏肉				合いびき肉				他の生鮮肉			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年上半期計	9,133	108.2	8,902	98.7	1,524	103.5	1,099	97.9	1,488	101.6	742	98.8
11月	1,569	104.3	1,508	100.9	241	99.6	173	99.4	274	103.0	133	105.6
12月	1,950	105.2	1,885	109.0	246	104.2	181	105.8	403	109.8	185	103.4
5年計	18,558	106.8	17,949	99.1	3,055	103.0	2,207	100.1	3,195	103.8	1,568	97.6
6年1月	1,608	103.1	1,501	100.7	259	106.6	190	108.0	250	94.0	141	88.7
2月	1,605	108.8	1,584	113.0	252	102.9	183	104.0	267	114.1	137	116.1
3月	1,650	109.2	1,614	107.8	296	117.9	217	124.7	264	117.3	153	137.8
4月	1,539	98.3	1,509	96.0	287	112.5	199	105.9	234	92.5	123	101.7
5月	1,585	103.6	1,569	105.7	311	113.9	225	112.5	256	87.4	118	93.7
6月	1,524	102.1	1,568	107.8	283	110.1	204	110.3	221	101.8	108	100.9
6年上半期計	9,511	104.1	9,345	105.0	1,688	110.8	1,218	110.8	1,492	100.3	780	105.1
7月	1,411	99.2	1,385	101.8	297	113.4	212	115.8	198	83.9	106	97.2
8月	1,427	101.1	1,399	102.6	293	113.6	201	104.7	276	94.2	103	71.0
9月	1,467	98.7	1,526	107.2	282	107.6	200	103.1	228	97.0	135	102.3
10月	1,595	100.5	1,584	105.5	279	106.1	198	107.0	257	96.6	119	93.0
11月	1,629	103.8	1,586	105.2	251	104.1	168	97.1	282	102.9	142	106.8

	ハム				ソーセージ				ベーコン			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年上半期計	2,046	98.5	1,046	95.2	3,871	103.3	2,659	98.8	1,316	102.3	761	98.8
11月	406	93.8	190	86.0	667	101.5	438	96.3	215	101.9	115	89.8
12月	699	101.3	334	99.4	720	100.1	482	94.3	247	100.8	137	95.1
5年計	4,750	99.8	2,375	96.7	7,876	102.0	5,304	97.5	2,590	99.1	1,455	93.7
6年1月	317	101.3	160	97.0	611	98.9	401	97.6	197	92.9	108	86.4
2月	291	101.7	145	98.6	631	101.8	411	97.9	204	98.1	115	98.3
3月	330	100.0	172	97.2	684	105.6	440	97.8	222	98.2	115	88.5
4月	329	99.4	159	96.4	683	101.5	448	91.4	223	94.1	127	89.4
5月	378	102.7	191	102.1	685	99.3	460	96.2	218	95.6	120	92.3
6月	416	99.5	209	102.0	653	105.0	421	102.7	215	104.9	118	100.9
6年上半期計	2,061	100.7	1,036	99.0	3,947	102.0	2,581	97.1	1,279	97.2	703	92.4
7月	434	92.3	217	90.0	626	97.1	409	96.9	200	102.0	109	100.9
8月	422	94.2	206	93.2	669	101.7	450	104.4	202	101.5	104	90.4
9月	343	100.3	170	98.8	634	100.8	433	104.8	204	100.0	108	100.0
10月	339	99.7	155	93.4	680	99.0	428	93.7	199	92.6	103	93.6
11月	443	109.1	215	113.2	682	102.2	449	102.5	208	96.7	108	93.9

[牛肉需給動向・11月] 推定出回り量は前年比3・0%減

農畜産業振興機構が発表した2024年11月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は7万7277t(前年同月比3・0%減)と前年同月を下回った。このうち国産品は3万4417t(前年同月並み)、輸入品は4万2861t(5・4%減)となった。

国内生産量は3万4984t(0.1%減)だった一方、輸入量は3万4574t(3・5%増)と増加した。これにより、推定期末在庫は国産品が1万867t(15・1%減)、輸入品が13万6791t(8・6%増)で合計14万7658t(6・4%増)となった。

[牛肉需給]

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
4年 8	26,525 (103.8)	53,506(99.5)	146,640(121.1)	13,243 (96.8)	44,213 (89.4)	25,876(104.6)
9	28,106 (105.2)	51,912(102.7)	152,206 (118.5)	13,633 (95.4)	46,346 (107.3)	27,015 (106.5)
10	28,863 (101.0)	48,609(88.1)	151,851 (114.2)	13,096 (89.6)	48,964 (96.5)	28,569 (103.5)
11	35,525 (104.0)	39,413(92.4)	150,014 (118.9)	12,699 (89.7)	41,250 (83.5)	35,235 (104.2)
12	31,727 (101.2)	37,456(82.0)	142,876(118.7)	12,690 (93.9)	44,594 (86.6)	30,858(99.3)
5年 1	26,660 (103.5)	39,915(98.8)	143,273 (118.1)	11,956 (90.5)	39,518 (100.1)	26,963 (105.4)
2	26,497 (107.4)	37,987(100.6)	142,589 (119.4)	12,345 (87.7)	38,671 (97.5)	25,467 (109.1)
3	29,499 (103.4)	36,768(108.4)	137,128 (119.6)	12,596 (95.6)	42,229 (109.2)	28,484 (98.8)
4	30,207 (101.6)	67,921(110.4)	147,784 (129.4)	12,371 (104.8)	57,265 (92.4)	29,694 (97.1)
5	27,295 (102.1)	46,459(101.5)	148,317 (125.4)	12,252 (97.8)	45,926 (110.3)	26,851 (105.4)
6	28,418 (102.7)	43,663(75.7)	148,065 (114.2)	12,243 (95.5)	43,915 (94.7)	27,806 (103.5)
7	30,671 (102.0)	38,693(74.4)	146,616 (106.7)	12,474 (94.1)	40,142 (90.7)	29,809 (102.8)
8	26,782 (101.0)	45,668(85.4)	148,038 (101.0)	12,343 (93.2)	44,246 (100.1)	26,275 (101.5)
9	28,100 (100.0)	37,023(71.3)	143,424 (94.2)	12,902 (94.6)	41,637 (89.8)	26,739 (99.0)
10	30,422 (105.4)	40,334(83.0)	137,851 (90.8)	13,026 (99.5)	45,907 (93.8)	29,462 (103.1)
11	35,030 (98.6)	33,409(84.8)	125,976 (84.0)	12,805 (100.8)	45,284 (109.8)	34,409 (97.7)
12	31,557 (99.5)	36,092(96.4)	117,207 (82.0)	12,619 (99.4)	44,861 (100.6)	30,833 (99.9)
6年 1	27,314 (102.5)	43,264(108.4)	122,238 (85.3)	11,618 (97.2)	38,233 (96.7)	27,712 (102.8)
2	26,904 (101.5)	31,010(81.6)	117,666 (82.5)	11,442 (92.7)	35,582 (92.0)	26,385 (103.6)
3	28,696 (97.3)	38,362(104.3)	111,229 (81.1)	13,108 (104.1)	44,799 (106.1)	26,259 (92.2)
4	31,124 (103.0)	63,202(93.1)	124,210 (84.0)	11,835 (95.7)	50,221 (87.7)	31,618 (106.1)
5	28,270 (103.6)	48,512(104.4)	128,998 (87.0)	12,269 (100.1)	43,724 (95.2)	27,283 (101.6)
6	27,418 (96.5)	47,574(109.0)	135,344 (91.4)	11,885 (97.1)	41,228 (93.9)	27,030 (97.2)
7	32,089 (104.6)	49,342(127.5)	140,727 (96.0)	11,271 (90.4)	43,959 (109.5)	31,959 (107.2)
8	25,885 (96.6)	48,897(107.1)	147,288 (99.5)	10,966 (88.8)	42,336 (95.7)	25,425 (96.8)
9	28,276 (100.6)	38,168(103.1)	144,550 (100.8)	11,298 (87.6)	40,906 (98.2)	27,023 (101.0)
10	31,210 (102.6)	43,933(108.9)	145,078 (105.2)	11,230 (86.2)	43,405 (94.6)	30,469 (103.4)
11	34,984 (99.9)	34,574(103.5)	136,791 (108.6)	10,867 (84.9)	42,861 (94.6)	34,417 (100.0)

「伝説のすた丼屋」で2種類の「すたみな必勝丼」を発売

牛丼チェーン「伝説のすた丼屋」「名物すた丼の店」を運営する(株)アントワークス(東京都杉並区、早川淳社長)は、14日から「すたみな必勝丼〈大金星〉」(税込み1740円)、「すたみな必勝丼〈白星〉」(1240円)を全国の店舗(一部店舗を除く)で期間限定販売する。

「すたみな必勝丼〈大金星〉」は、茶わん約3杯分もの大盛りご飯に千切りキャベツ、並盛と同量の「すたみな焼き」、クラッシュにんにく入りの「すたみなキムチ」「タルタルソース」「青ねぎ」をトッピング。極めつけの「棒ヒレカツ」「牛カツ」「味玉」を豪快に盛

り付けた、総重量約1kg、同店史上“最高”の高さ約26cmの満腹必至の丼に仕上げた。

また、「すたみな必勝丼〈白星〉」も、茶わん約3杯分もの大盛りご飯の上に千切りキャベツ、1を表す「棒ヒレカツ」「牛カツ」、さらに「すたみな焼き」を0に見立て、仕上げに「タルタルソース」で白を演出。総重量約700gの重量でお腹を満たすとともに、“100”点を目指してもらおう丼となっており、受験勉強で日々頑張る学生を、食を通じて応援する商品となっている。

【豚肉需給動向・11月】 推定出回り量は前年同月比1・1%減

農畜産業振興機構が発表した2024年11月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は16万3591t(前年同月比1・1%減)となった。このうち国産品は7万8249t(4・7%減)と減少した一方、輸入品は8万5341t(2・4%増)と増加した。

また、国内生産量は7万8361t(5・2%減)、輸入量は7万8216t(4・5%増)と前年同月を上回った。これにより、推定期末在庫は国産品が2万1389t(6・1%増)、輸入品が19万4797t(5・7%増)で合計21万6186t(5・8%増)となった。

【豚肉需給】

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
4年8	70,557(99.0)	86,492(110.7)	207,966(125.6)	20,365(89.0)	78,577(107.3)	71,355(98.9)
	72,765(96.8)	72,520(97.7)	204,472(123.6)	19,371(88.3)	76,014(102.3)	73,623(96.9)
	75,549(98.2)	75,744(97.3)	196,107(121.5)	19,698(92.2)	84,109(102.7)	75,135(97.2)
	81,110(98.6)	87,886(112.0)	195,556(126.4)	18,751(86.8)	88,437(103.9)	81,919(100.0)
	79,677(97.0)	68,853(92.5)	185,413(127.3)	19,816(86.5)	78,996(94.6)	78,456(97.3)
5年1	77,322(97.2)	74,837(90.7)	188,666(122.5)	18,538(79.8)	71,584(96.5)	78,645(99.4)
	72,986(98.9)	71,250(99.2)	189,121(121.2)	19,905(85.9)	70,795(101.4)	71,512(97.1)
	81,689(98.3)	69,027(96.1)	189,572(121.4)	20,232(84.3)	68,576(95.5)	81,215(98.8)
	73,794(96.8)	109,570(100.7)	204,045(120.0)	20,573(92.5)	95,097(100.2)	73,311(94.2)
	76,116(105.0)	89,729(115.9)	223,902(126.5)	20,193(90.0)	69,872(99.2)	76,372(105.8)
	73,486(100.4)	81,311(91.1)	225,208(117.1)	19,586(92.6)	80,005(108.2)	73,928(99.4)
	68,264(101.2)	74,831(90.1)	220,067(110.0)	20,758(97.7)	79,972(106.3)	66,926(99.6)
	70,175(99.5)	73,862(85.4)	217,704(104.7)	21,032(103.3)	76,225(97.0)	69,796(97.8)
	69,500(95.5)	61,727(85.1)	203,477(99.5)	21,452(110.7)	75,954(99.9)	68,945(93.6)
	78,467(103.9)	70,100(92.5)	192,812(98.3)	19,689(100.0)	80,765(96.0)	80,065(106.6)
	82,650(101.9)	74,813(85.1)	184,253(94.2)	20,154(107.5)	83,372(94.3)	82,084(100.2)
	81,152(101.9)	67,663(98.3)	170,120(91.8)	21,381(107.9)	81,796(103.5)	79,774(101.7)
6年1	80,283(103.7)	72,027(96.2)	173,172(91.8)	20,836(112.4)	68,975(96.4)	80,748(102.7)
	77,558(106.3)	64,527(90.6)	165,686(87.6)	21,439(107.7)	72,013(101.7)	76,853(107.5)
	77,333(94.7)	74,351(107.7)	166,119(87.6)	23,117(114.3)	73,918(107.8)	75,518(93.0)
	78,976(107.0)	98,780(90.2)	174,059(85.3)	22,670(110.2)	90,840(95.5)	79,317(108.2)
	76,183(100.1)	94,087(104.9)	189,925(84.8)	24,239(120.0)	78,221(111.9)	74,520(97.6)
	66,310(90.2)	81,660(100.4)	193,156(85.8)	24,750(126.4)	78,429(98.0)	65,692(88.9)
	71,679(105.0)	86,155(115.1)	195,529(88.8)	23,227(111.9)	83,782(104.8)	73,101(109.2)
	65,651(93.6)	84,078(113.8)	200,290(92.0)	22,108(105.1)	79,317(104.1)	66,675(95.5)
	68,773(99.0)	78,666(127.4)	201,197(98.9)	21,580(100.6)	77,759(102.4)	69,219(100.4)
	79,625(101.5)	86,742(123.7)	201,922(104.7)	21,384(108.6)	86,017(106.5)	79,699(99.5)
	78,361(94.8)	78,216(104.5)	194,797(105.7)	21,389(106.1)	85,341(102.4)	78,249(95.3)

バーガーキングが「グリーンゴッデス マッシュルームワッパー」発売

(株)ビーケージャパンホールディングス(東京都千代田区、野村一裕社長)は10日、4種のきのこ直火焼きの100%ビーフパティを使用し、ミルクィで爽やかなサワークリームに4種のハーブがほのかに香る特製グリーンゴッデスソースで仕上げた「グリーンゴッデス マッシュルームワッパー」(税込み790円)、パティが2枚の「グリーンゴッデス ダブルマッシュルームワッパー」(1140円)、お手頃サイズの「グリーンゴッデス マッシュルームワッパーJr.」(490円)の3商品を期間限定で新発売した。

同商品は、直火焼きの100%ビーフパティに、ローストした2種類のマッシュルームとえりんぎ、ぶなしめじの4種のきのこをぜいたくに使用し、フレッシュなレタス、トマト、オニオンを重ねた。さらに、オレガノ、タイム、パセリ、タラゴンの4種のハーブがほのかに香るミルクィで爽やかなサワークリームに、レモンのフレッシュな酸味が加わった、新開発の「特製グリーンゴッデスソース」とマヨソースが4種のきのこ相性抜群の本格バーガーとなっている。

【東京食肉卸売市場】 補充落ち着き牛、豚ともに弱含みか

〔牛〕東京市場の7日の初競りは年末と同水準かやや高値となった。年末年始は市場休みが長く、末端需要も好調だったことから、週を通して和牛、交雑牛ともに強もちあいからもちあい。ただ雌は、年末の高値から落ち着いた相場になっている。末端の動きをみると、量販店を中心に小売や、外食の焼き肉は、帰省客、ファミリー層を中心に、スライス系や焼き材は好調だったよう。一部では店舗からの追加発注もきかれた。そのため、各社、年末からの在庫はそれほどもっていないとみられ、買いが入った。

今週の東京の上場は平均390頭の予定。3連休も終わり、年末年始の消費疲れもあり、末端需要は鈍くなるとみられている。また、手当て買いもおおむね終わり、弱含みか。

〔豚〕年明けの前週は、最大9連休となるなど例

年に比べて年末年始の休みが長期化したことから出荷頭数は比較的多く、全国と畜頭数は連日7万頭を超えた。一方、相場も年明けから大きく上昇する展開に。東京市場の初競りとなった6日は上物価格638円でスタート。その後も上昇基調となり、週半ばには700円を超える価格を付けた。休みが長かった分、補充買いが増加したことに加え、週末には再び3連休が控えていたこともあり、手当てが進んだ。また、北日本を中心に強い寒波により大雪となっており、今後は気温低下による肉豚の生育や道路の寸断など物流面への影響も懸念される。

連休明けとなる今週からは、不需要期でもあり需要は緩むことが想定され、相場も弱含みの展開か。ただ、生産や物流の状況によっては、想定以上の高値で推移する可能性もありそうだ。

【大阪市食肉卸売市場】 和牛下旬向け下落、豚 500 円程度の推移

〔牛〕去年は競り最終日まで高値が続いた大阪市場。和牛A5、A4共に高値となり、交雑牛も高値となった。年末らしい活発な競りになったといえる。

年明けからはさすがに相場も下落しており、初競りこそA5去勢の加重平均価格2765円を付けたが、その後は徐々に下落している。ニーズも落ち着いており、この先、目立った高値になることはなさそうだ。

和牛価格は下旬にかけてこのまま下がっていき、一方、普段使いされる交雑牛についてはB3で1600円台を維持するだろう。

〔豚〕去年は驚きの高値が継続したが、年が明ける前に500円台までダウンした。しかし、今年も夏前には高値になることが予想されており、この先も慎重な仕入れが求められる。当面は500円程度の見通し。

まい泉、「だし香る黒豚の肉じゃがコロッケ」 期間限定発売

井筒まい泉(株)(東京都港区、國弘克英)は「だし香る黒豚の肉じゃがコロッケ」を15～2月25日、全国の直営店で期間限定販売する。

子どもから大人まで大好きな家庭のおかずの定番、肉じゃがをコロッケに仕上げた同商品。うまみの強い黒豚に、かつおと昆布の2種類のダシを合わせ、甘辛い味わいに仕上げている。ほくほくとしたじゃがいもに黒豚とダシのおいしさがよく染み込み、ご飯によく合う冬らしいコロッケ。温めると一層ダシの香りが広



がる1品となっている。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 1月10日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	2,918	2,364	2,120	-	-
		安値	2,332	1,786	1,850	-	-
		平均	2,519	2,245	2,045	1,611	-
		頭数	45	22	3	1	-
	71頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
-頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
去 A	高値	3,425	2,494	2,245	-	-	
	安値	2,093	1,970	1,848	-	-	
	平均	2,575	2,310	2,069	1,456	-	
	頭数	128	44	9	1	-	
182頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,253	-	-	-	
	頭数	-	1	-	-	-	
1頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,702	1,587	1,384	-
		頭数	-	1	8	4	-
	雌 C	平均	-	-	1,414	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
	去 B	平均	-	1,693	1,614	1,448	-
		頭数	-	7	12	6	-
	去 C	平均	-	-	1,575	1,345	-
		頭数	-	-	2	3	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚	その他
と畜	399	1,109	-	(競り) (対)	
売買	392	1,137	181.5	-	18
				18	83

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,963	2,102	1,499	1,135	-
	B	2,340	-	1,302	1,065	-
和 去	A	2,624	2,392	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,005	782
	C	-	-	-	1,096	774
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	1,011	943
交 雌	B	-	1,729	1,583	1,205	-
	C	-	-	-	1,262	-
交 去	B	-	-	1,462	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	810	723	595	597	580
	安値	562	508	497	497	389
	平均	617	542	520	524	494
	頭数	(13)	(364)	(480)	(240)	(40)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入対	高値	-	681	660	572	464
	安値	-	681	572	518	432
	平均	681	681	622	548	459
	頭数	(1)	(4)	(2)	(7)	(4)

[大阪食肉卸売市場] 1月10日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,516	2,125	-	-	-
(頭数)	(5)	(7)	(1)	(2)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,341	2,210	1,999	-	-
(頭数)	(18)	(14)	(1)	(-)	(-)
B	2,040	-	1,835	-	-
(頭数)	(1)	(1)	(1)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,741	1,595	-	-
C	-	1,609	1,558	-	-
交雑去 B	1,919	1,679	1,605	1,535	-
C	-	1,674	1,572	-	-
豚	-	540	481	449	396

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	1月10日	1月9日	(1月累計)
豚	69,500	71,900	357,700
成牛計	4,470	4,350	23,090
和牛雌	1,130	990	5,340
和牛去勢	980	1,190	6,140
乳牛雌	800	950	3,670
乳牛去勢	370	460	2,580
交雑雌	580	310	2,470
交雑去	560	450	2,820

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 1月10日

東京	1,523円(前日 1,532円)
大阪	1,572円(前日 1,595円)

[豚・全農建値] 1月10日

上	中	取引頭数	市況
578円	541円	1,215頭	急落

と畜	牛 51頭	豚 248頭	牛概況	もちあい
売買	牛 105頭	豚 214頭	豚概況	急落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 1月10日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	648 (648)	- (-)	6,209	-	もちあい
仙台 [中]	629 (636)	608 (594)	559	43	続落
宇都宮 [地]	610 (612)	561 (589)	1,681	78	弱もちあい
茨城 [地]	542 (662)	541 (645)	1,588	670	急落
群馬 [地]	554 (689)	486 (594)	2,500	555	暴落
さいたま [中]	536 (666)	497 (628)	231	228	急続落
東京 [中]	542 (639)	520 (618)	1,109	1,137	続急落
横浜 [中]	656 (686)	606 (657)	665	667	反落
山梨 [地]	- (661)	- (612)	139	48	休市
浜松 [地]	629 (632)	585 (568)	328	36	もちあい
名古屋 [中]	591 (582)	553 (573)	816	301	上伸
京都 [中]	551 (543)	527 (543)	136	75	もちあい
大阪 [中]	540 (588)	481 (540)	248	166	急落
神戸 [中]	526 (589)	529 (569)	-	49	下押し
岡山 [地]	594 (578)	566 (576)	365	359	上伸
広島 [中]	615 (590)	578 (553)	205	86	急騰
福岡 [中]	620 (634)	581 (604)	441	166	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 1月3日~1月9日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,234,733 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,126	1,296	1,350	1,266	42,969
うで	734	788	826	780	118,178
ロース	1,058	1,112	1,223	1,136	111,133
ばら	1,144	1,305	1,363	1,278	123,198
もも	729	784	816	779	168,780
ヒレ	1,072	1,123	1,409	1,207	8,623
セット	995	1,045	1,082	1,044	661,852

◇近畿圏 総重量 602,937 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,312	1,350	1,391	1,351	48,276
うで	693	745	769	737	97,259
ロース	1,123	1,188	1,312	1,210	79,347
ばら	1,243	1,318	1,436	1,324	103,386
もも	699	729	761	726	145,689
ヒレ	1,058	1,218	1,359	1,227	9,027
セット	851	972	1,130	998	119,953

[食鳥正肉日経相場] 1月9日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	709	746	874	153
ムネ	371	407	505	127

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	718	767	1,030	9
ムネ	379	436	590	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 1月9日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,011	627	550	600	650
安値	690	362	290	360	350
平均	754	412			

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 470頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、B5判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1

TEL 03(3663)2011 FAX 03(3663)2015

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995